

連合長崎第39回地方委員会

2015春季生活闘争・第18回統一地方選挙を勝利し、
「底上げ・底支え」ですべての働く者の暮らしを守ろう!

連合長崎は、2015年2月6日(金)13:30からホテルニュー長崎において第39回地方委員会を開催しました。

森会長は、冒頭、主催者あいさつを行い、「2015春季生活闘争」及び「第18回統一地方選挙への対応」の2点に対する取り組みを提起しました。

①2015春季生活闘争について

今春闘は、これから具体的な労使協議に入っていくが、一部の大手企業を除くと経営側は業績反映部分を依然として一時金に転嫁しようとしている。私たちはペースアップでの賃金底上げを勝ちとらなければならないが、今年も非常に厳しい状況にある。しかし、私たちは会社業績により大きく影響を受ける一時金ではなく、日々の生活の基盤となる賃金の底上げに徹底してこだわらなければならない。特に、1997年から地場中小の賃金は下降を続けている。格差拡大に歯止めをかけるためにも、まずは大手企

業、3月18日の集中回答日に向け、成果を上げてもらわなければならない。そして、その結果を地場中小の闘いや今話題となっている公務員の賃金の問題に反映していかななければならない。

そしてもう一つは、今次春闘で連合として掲げているのが「長時間労働の撲滅へ向けた時短への取り組み」である。2014年時点で厚生労働者の統計によると、過去10年ほどの間に過労で自殺する人が10倍ほど増えてきているという危機的な状況にある。過労死は、40～50歳台から20歳台の若者にまで広がってきている。過労・長時間労働は「うつ病」や「燃え尽き症候群」を引き起こしがちで、その結果、自殺を選択する人も多いのが実態である。日本で起きているこの状態が欧米にはない特異な状況。私たちは、労働者が働きがいがあり、健康で安心した生活ができる環境構築に向けて、この闘いに全力を傾注しなければならない。これから要求書を提出される

組合においては、賃上げと同等に、この長時間労働の撲滅、36協定を遵守した上での長時間労働の規制、そして時短に向けた取り組みも一項目追加していただきたい。

②第18回統一地方選挙への対応について

私たちは、10月の第38回地方委員会で今次地方選挙での連合長崎推薦候補予定者を確認、並びに支援体制の決定をし、構成組織の皆さんに確認をいただいた。各組織においては、早急に全ての組合員とその家族に対する周知と支援強化に取り組んでいただかなければならない。同時に、各候補者においても支援組織に対しての更なる支援のお願いやイベントなどへの積極的な参加など信頼関係の構築に努めてもらわなければならない。いずれにしても私たち労働者の声を行政に反映するための戦いと位置づけ、全員当選へ総力を結集していかなければならない。

森会長のあいさつの後、民主党県連の宮島大典代表代行、社民党県連合の泉原正行幹事長から来賓のあいさつを受けました。

その後、一般活動経過及び第47回衆議院議員選挙総括について報告が行われ、質疑応答の中では、黒崎委員(自治労・全国一般)から4年近く続いたミカド闘争が2月3日にようやく和解へ至ったことについてのお礼も報告されました。報告事項については満場一致で承認されました。

続いて、第1号議案「連合長崎2015春季生活闘争方針(案)」を佐竹副事務局長から、第2号議案「2015年度連合長崎組織拡大方針(案)」、第3号議案「第18回統一地方選挙の取り組み(案)」を宮崎事務局長から提起を行い、満場一致で承認されました。その後、来春の統一地方選挙に出馬予定の連合長崎推薦候補予定者が登壇し、それぞれ一言ずつ決意表明をいただき、続いて、スローガン及び地方委員会アピールを確認しました。

最後に、森会長から連合長崎の推薦候補予定者に対して、「今回の選挙で全面的に支援をするのが、本日、ここに集まった組織の代表者。全力で支援をするが、当選した暁には、逆に4年間をかけて応援してもらった組織を支援していただきたい。議員と労働団体との信頼関係をさらに深めていただきたい」とお願いをし、「2015春季生活闘争」と「第18回統一地方選挙」の完全勝利をめざして、ガンバロー三唱を行い、連合長崎第39回地方委員会を閉会しました。

承認された議案

第1号議案

「連合長崎2015春季生活闘争方針(案)」

(主な内容)

連合本部方針に則り、構成組織・地協と連携し、

闘争本部・中小闘争本部を立ち上げ取り組みを進めていくことや長崎県の厳しい状況を切り開くために、①雇用の安定確保、②「底上げ・底支え」をはかるためにも月例賃金にこだわった闘いを進める、③中小・地場組合の賃金改善、④非正規労働者の労働条件改善、⑤ワーク・ライフ・バランスの実現・総実労働時間の短縮、などの最重要課題を実現するため、2015春季生活闘争へ積極的に取り組むという方針等が承認されました。

第2号議案

「2015年度連合長崎組織拡大方針(案)」

(主な内容)

組織拡大を連合長崎の最重点課題と位置づけ、短期・中期目標を設定しながら積極的に取り組むことを基本に、連合方針である「1000万連合」実現に向けた連合長崎としての役割を自覚し、連合長崎・各地協と構成組織が十分連携しながら、「危機感」をもって組織拡大に取り組むことや「年間1,500名」の組織拡大を実現するとともに、2020年の目標を「現在の組織人員プラス10,000名」に設定し、連合長崎組織拡大推進会議において具体的取り組みを確認・提起する中で、連合長崎における全ての活動を「組織拡大」に繋げることを強く意識し全力で取り組みを進めていくことを確認しました。

第3号議案 「第18回統一地方選挙の取り組み(案)」

(主な内容)

「私たちの政策制度実現に向けた重要な戦いであり、現有議席の維持・拡大を基本に取り組む」ことを基本に、全ての連合長崎推薦候補予定者の当選をめざし、連合長崎及び構成組織・地協が十分に連携し、組織の総力を結集して取り組むこと及び第18回統一地方選挙の連合長崎推薦(支持)候補予定者(2015年2月6日現在)の確認を行いました。

連合長崎第 39 回地方委員会アピール

連合長崎は、本日、第39回地方委員会を開催し、2015春季生活闘争、組織拡大、第18回統一地方選挙の諸課題への取り組み方針を力強く決定した。

現在、政府は、日本を「世界で一番企業が活躍しやすい国」とすることを掲げ、強いものをより強くすることで成長をめざす政策を進めている。円安や株高などで一部の企業や富裕層は潤っているが、その恩恵は多くの働く者の家計や社会の底辺へは波及しておらず、結果として、一部の層だけが利益を享受する格差社会が推し進められている。

非正規労働者も増え続け、低所得者が増大している。労働者保護ルールに「岩盤規制」とレッテルを貼り、労働者派遣法の改悪、長時間労働や過労死を助長しかねない、いわゆる「ホワイトカラー・エグゼンプション」や解雇の金銭解決制度の導入を検討するなど、働く者を踏み台にした国づくりが進められようとしている。さらに負担を分かち合いながら、持続可能な全世代支援型社会保障制度をめざしてきたにもかかわらず、現下の状況は社会保障制度の改革も足踏みが懸念され、社会のすそ野に光を当てた、共生社会と包摂的な成長からは程遠い状況にある。

こうした中で迎える2015春季生活闘争は、すべての組合が重点的に取り組む課題として「賃上げ」「時短」「政策・制度実現の取り組み」を「3本柱」として位置づけ、これらの取り組みを通じ「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を通じ、「デフレからの脱却」と「経済の好循環実現」に向けて全力をつくさなければならない。

「1000万連合の実現」に向け連合本部・地方連合会・構成組織による三位一体の取り組みを本格スタートしている。連合長崎も、2020年までに10,000人増の拡大目標を達成すべく、構成組織や各地協、あらゆる関係団体と連携し、組織拡大を一層推進していく必要がある。

連合長崎は、組織強化・拡大を運動の最重要課題と位置づけ、増加する非正規労働者も視野に入れ、すべての職場に「集团的労使関係」の構築をめざし、地域と職場で組織拡大のための行動を展開する。「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざし、すべての労働組合が一丸となり、粘り強い交渉を展開し、「今こそ賃上げ、デフレからの脱却」、さらには、すべての働く者の処遇改善を追求していかなければならない。

また、本年4月に施行される、第18回統一地方選挙においては、「働く者・生活者」の立場にたった政策・制度の実現に向けて、連合長崎が推薦する政治勢力の維持・拡大は不可欠であり、すべての連合長崎推薦候補者の勝利に向け、構成組織と地協の連携強化をはかり総力を結集し戦い抜く。

以上決議する。

2015年2月6日 連合長崎第39回地方委員会



開会あいさつ
長岡副会長



議長 太田委員(基幹労連)
春木委員(UAゼンセン)



主催者あいさつ
森会長



来賓あいさつ
民主党県連
宮島代表代行



来賓あいさつ
社民党県連合
泉原幹事長



閉会あいさつ
江口副会長



連合長崎推薦候補予定者の皆さん

賃上げで景気の底支えを！ 「休み方」「働き方」改革で長時間労働撲滅！ ～併せて統一地方選挙へ向けた「政治学習会」を開催～



2月14日(土)、矢太樓において、約100人の仲間が集まり「2015春季生活闘争討論交流集会」を開催しました。冒頭、森会長は、「2015春季生活闘争」、「第18回統一地方選挙への対応」の2点について主催者を代表してあいさつを行いました。

森会長のあいさつの後、連合長崎の佐竹副事務局長が2月6日の連合長崎第39回地方委員会で確認された「連合長崎2015春季生活闘争の取り組み」についての説明を行い、その後、連合本部の非正規労働センターの村上陽子総局長から「非正規労働者に対する連合の取り組み」についてご講演いただきました。

続いて、直近に迫ってきた統一地方選挙へ向けて、富士社会教育センターの教育コーディネーターである大江一郎さんをお招きし、「公職選挙法の正確な知識」についての「政治学習会」開催し、公職選挙法についての認識・理解を深めました。

そして、最後に連合長崎中小闘争本部の副本部長である鴨川副事務局長がガンバロー三唱を行い、「2015春季生活闘争」、「第18回統一地方選挙」の勝利へ向け参加者全員で意思統一をはかり、連合長崎「2015春闘討論集会」を閉会しました。

「2015春季生活闘争」「第18回統一地方選挙」に勝利し、安心社会と格差是正の実現に向け、連合長崎、地協、構成組織、組合員、一丸となり全力をあげて取り組みを進めましょう。

【2015春季生活闘争の要求と取り組み】

1. 雇用の安定確保へむけた連合長崎の取り組み

県内の雇用情勢は依然として厳しい状況にあり、この現状を乗り切るために長崎県の経営4団体等との意見交換の場を設定し、この局面の打開をはかる。

2. 「賃金カーブ維持分」の確保とベースアップによる賃金改善の取り組み

すべての構成組織は、月例賃金にこだわる闘いを

進め、「底上げ・底支え」をはかるために、定昇・賃金カーブ維持相当分(約2%)を確保し、過年度物価上昇分はもとより、生産性向上分などを賃上げ(2%以上)として求める。地場組合においては格差是正・配分のゆがみの是正(1%を目安)についても要求に掲げる。

3. 非正規労働者の処遇改善をはじめとする様々な課題への取り組み

非正規労働者の賃金・労働条件の改善をはかるとともに、①職場における非正規労働者の実態把握、②派遣労働者を受け入れている場合は、社会・労働保険の加入状況点検、③非正規労働者を対象にした正社員転換制度の創設、等に関する交渉・協議を行う。

4. 中小・地場組合の賃金改善

①基本的な労働条件としての月例賃金を重視し、賃金カーブ維持分と賃金引き上げ分並びに規模間・地域間の格差是正分を求める。同時に、公契約基本法・公契約条例の制定、下請法に関する取り組みを強化し、中小企業労働者の生活や労働条件を確保することとする。

②連合リビングウェイジにおける単身世帯および2人世帯(父子世帯)の水準をクリアすることをめざす。(長崎県単身145,000円、父子198,830円：自動車なし)

③連合加盟組合全体平均水準の2%相当額との差額を上乗せした金額を賃上げ水準目標(6,000円)とし、賃金カーブ維持分(4,500円)を含めた総額で10,500円以上を目安に賃金引上げを求める。

5. 非正規労働者の労働条件改善

非正規化の動きが止まらない中であって、非正規労働者等の生活防衛と雇用確保を連合長崎の2015春季生活闘争における大きな柱として位置づけ、時間給の引き上げなど処遇改善に全力で取り組む。

6. 地場中小労組・非正規労働者に対する連合長崎の取り組み

構成組織及び単組における非正規労働者の実態調査を実施し、正規労働者との均等待遇を求め、非正規労働者の処遇改善に向けた取り組みを強化する。

7. 最低賃金の取り組み

①全従業員対象の企業内最低賃金協定の締結を連合リビングウェイジの水準を目標として取り組む。

②現行時間額(677円)の長崎県地方最低賃金の引き上げと特定最低賃金(産業別最低賃金)の引き上げに努める。

8. 男女平等の実現に向けた連合長崎の取り組み

性別役割分業意識の払拭等を背景に制定した「男女雇用機会均等法」の定着・点検の強化をはかる。また、2015春季生活闘争の取り組みとして「連合長崎第2次男女平等参画推進計画(2014~2020年度)」に基づき、計画に掲げる3つの目標を推進する。

9. ワーク・ライフ・バランスの実現、労働時間短縮の取り組み

「社会生活の時間」の充実を含むワーク・ライフ・バランス社会の実現が日本社会の持続可能性のためにも不可欠であるため、長時間労働撲滅に向けた取り組みを強化する。

10. 政策制度の要求と実現に向けた取り組み

「2015年度政策・制度実現の取り組み」と「2015春季生活闘争における賃金・労働条件改善の取り組み」を「運動の両輪」として、すべての労働者を対象にした生活改善・格差是正の運動を強力に進める。

11. 労働者保護ルール改悪阻止に向けた運動強化

1月26日開催の「通常国会」に対する取り組みが一層強化されることから、連合本部が提起する取り組みを全力で展開する。

【2015春季生活闘争の具体的な展開】

1. 連合長崎の取り組み

1) 経営者団体への要請行動

経営者協会など、経営者4団体(長崎県経営者協会、長崎県中小企業団体中央会、商工会議所、商工会連合会)との意見交換の場を設け、特に地場中小の賃上げに対する解決促進に向けた取り組みを行う。

2) 戦術会議、支援オルグ等の取り組み

構成組織・単組との連携強化のため、戦術会議、支援オルグ等を取り組むこととし、また、構成組織の理解と協力を得て単組オルグを実施する。

3) 構成組織地場産別代表者会議の開催

連合長崎と地場産別との連携、産別による単組への支援を目的に連合長崎構成組織地場産別代表者会議を開催する。

4) FAXニュースの発行

地場組合の賃上げ結果の情報交換、賃金交渉の状況と闘いの支援のために「FAXニュース」や「中小闘争本部ニュース」を発行する。そのためにも、各構成組織における交渉結果(要求内容・交渉の進捗状況・妥結内容)の開示を求める。

5) 「なんでも労働相談ダイヤル」の開設

未組織(非正規含)労働者に対し、各種労働問題に関する相談に対応するため、2015春季生活闘争期間中における「なんでも労働相談ダイヤル」の

取り組みを強化する。

・フリーダイヤル 0120-154-052

6) 最低賃金の取り組み

構成組織は産別・企業内最低賃金(全従業員対象)の協約化に取り組む。

また、組合のない職場の労働条件の底上げをはかることを目的に、3月上旬に「最低賃金要求書」を労働局に提出する。なお、具体的な取り組みは「連合長崎最低賃金対策委員会」で協議し進めることとする。

2. 各地協・ブロックの取り組み

1) 各地協・ブロックにおける闘争本部の設置

地場中小組合の2015春季生活闘争支援のために各地協・ブロック毎に地協・ブロック中小闘争本部を設置し具体的な取り組みを進めることとする。

2) 2015春季生活闘争開始宣言集会の開催

2015春季生活闘争のスタートの共有化をはかるため、2月7日(土)~28日(土)までの間に各地協での「闘争開始宣言集会」等を開催する。

3) 「なんでも労働相談ダイヤル」の取り組み

周知活動として各地協において街宣行動を実施する。

4) 2015春季生活闘争各地区総決起集会の開催

大手産別のヤマ場である3月中旬をゾーンとして、各地協で総決起集会を開催する。

5) 中小労組解決促進集会の開催

4月中~下旬に地場中小組合の解決促進のために地区集会などを開催することとし、集会内容については中小組合の交渉状況等の情報交換と交流をはかる内容とする。

6) 各地協・ブロックでの情報交換と連携強化の取り組み

地場中小組合における交渉状況などの情報交換のために激励オルグの実施、交流会の開催、地協ニュース等の発行など各地協で工夫した取り組みを行う。

3. 構成組織の取り組み

1) 賃金引き上げ等の要求については、構成組織の方針を基本に取り組む。

2) 要求書提出は、2月末までに全組合が要求書提出に努めることとする。

3) 回答ゾーンについて

・3月16日~20日：先行組合回答ゾーン
(最大のヤマ場：3月18日)

・3月23日~31日：中堅・中小組合
集中回答ゾーン

・4~5月以降の闘い方：連合長崎闘争本部役員による激励行動。

4) 解決目途については、4月末日を当面の目途とする。

連合九州ブロック連絡会

「2015春季生活闘争キャラバン」終結集会を開催!

～賃上げで景気の底支えを!「休み方」「働き方」改革で長時間労働撲滅!～

2015年2月20日(金)18時30分より長崎市の江戸町公園にて、連合九州ブロック連絡会「2015春季生活闘争キャラバン」終結集会を開催しました。終結集会には450名を超える仲間たちが集結し、連合九州ブロックの各県の代表者も集結しました。

連合九州ブロック「2015春季生活闘争キャラバン」は、1月24日(土)に熊本市の辛島公園を出発し、鹿児島→宮崎→大分→福岡→佐賀の各地で街宣行動を行い、2月16日(月)に長崎に引き継がれ、その後、長崎県内(佐世保→松浦→平戸→東彼杵→大村→諫早→島原半島)を街宣し、2月20日(金)に終結集会の場である長崎市へ到着しました。

終結集会は、連合九州ブロック代表幹事である連合福岡の高島会長の主催者あいさつに始まり、鈴木連合組織拡大・組織対策局長より連合本部あいさつ、そして渡辺敏勝民主党県連副代表、熊江雅子社民党県連合副代表より連帯あいさつを受けました。その後、連合

九州ブロック事務局長である連合福岡の西村芳樹事務局長より情勢報告、連合長崎女性委員会の山中長枝委員長より集会アピール採択、そして最後に連合長崎の森会長がガンバロー三唱を行い、参加者全員で「2015春季生活闘争」及び「統一地方選挙」の勝利を誓い合いました。

「2015春季生活闘争」は、2014春季生活闘争からの賃金引き上げの流れを着実なものとする重要な闘いであり、また連合に集う組合員のみならず、未組織労働者や非正規労働者への波及に重点を置き、社会全体の賃金体系・労働条件の「底上げ・底支え」と「格差是正」をはかることで「デフレからの脱却」と「経済の好循環実現」を果たす社会的な使命を帯びた闘争でもあります。連合長崎・各地協・各構成組織が一丸となり「2015春季生活闘争」の勝利へ向け全力で闘い抜きましょう。



連合九州ブロック
高島代表幹事



連合組織拡大・組織対策局
鈴木局長



民主党県連
渡辺副代表



社民党県連合
熊江副代表



連合九州ブロック
西村事務局長



連合長崎女性委員会
山中委員長



連合長崎
森会長

第18回統一地方選挙

連合長崎推薦候補予定者の全員当選へ向け、 連合長崎、地協、構成組織の総力をあげて取り組もう！

4月に施行される「第18回統一地方選挙」まで、残すところあと2カ月を切りました。統一地方選挙は、私たちの一番身近な選挙であり、生活に直接影響する大切な選挙です。

連合長崎は、「第18回統一地方選挙」に向け、下記のとおり連合長崎推薦候補予定者を決定しています。












私たち労働者の声を行政に反映していくために、連合長崎推薦候補予定者の全員当選へ向け、連合長崎、地協、構成組織の総力を結集し戦い抜きましょう。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

2015年 統一地方選挙 連合長崎推薦候補予定者一覧 2015.2.6現在

議会名 (定数)	氏名	所属	出身産別	現・元・新	議会名 (定数)	氏名	所属	出身産別	現・元・新
長崎県議会 (46名)	1 渡辺 敏勝	民主	基幹労連	現3期	長崎市議会 (40名)	8 中里 泰則	社民	自治労	新人
	2 深堀 浩	民主	電力総連	現1期		9 池田 章子	社民	県教組	現2期
	3 清水 正明	民主	自治労	現1期		10 野口 達也	無所属	長崎私交通	現3期
	4 坂本 浩	社民	自治労	新人		11 木森 俊也	民主	組織外	新人
	5 赤木 幸仁	民主	組織外	新人		12 中村 俊介	無所属	組織外	現1期
	6 吉村 正寿	民主	組織外	新人(支持)		佐世保市議会 (33名)	1 山下 隆良	民主	基幹労連
	7 浜口 俊幸	民主	基幹労連	現1期	2 柴山 賢一		民主	基幹労連	現2期
	8 久野 哲	民主	基幹労連	現2期	3 小野原 茂		民主	基幹労連	現2期
	9 山田 朋子	民主	組織外	現2期	4 久野 秀敏		民主	基幹労連	現1期
	10 吉村 庄二	社民	自治労	現4期	5 早稲田矩子		社民	県教組	現3期
	11 友田 吉泰	無所属	基幹労連	現1期	6 古家 勉		社民	自治労	現2期
	12 山口 初實	民主	基幹労連	現2期	7 永田 秀人		社民	自治労	現1期
	13 楠 大典	無所属	組織外	現3期	大村市議会 (25名)	1 水上 亨	無所属	自治労	現1期
	14 高見 健	民主	全水道	現2期		2 大崎 敏明	民主	組織外	現3期
	15 山田 博司	無所属	組織外	現3期(支持)		3 村上 信行	無所属	組織外	現1期
長崎市議会 (40名)	1 中村 照夫	民主	J P 労組	現4期	1 島原市議会 (19名)	草野 勝義	無所属	私鉄総連	現1期
	2 西田 実伸	民主	基幹労連	現3期	1 時津町議会 (16名)	山口 一三	民主	基幹労連	現1期
	3 五輪 清隆	民主	基幹労連	現3期	長与町議会 (16名)	1 内村 博法	民主	基幹労連	現1期
	4 井上 重久	民主	基幹労連	現2期		2 分部 和弘	民主	基幹労連	現1期
	5 馬場 尚之	民主	基幹労連	現1期		3 饗庭 敦子	民主	組織外	現1期
	6 梅原 和喜	民主	基幹労連	現1期		4 安部 都	無所属	組織外	現1期
	7 川瀬 隆文	民主	情報労連	現1期					

※連合長崎は公職選挙法にのっとり、「第18回統一地方選挙」に取り組めます！

2015年連合長崎 地域協議会・ブロック連絡会議 役員紹介 (2015年2月27日現在)

地域協議会名	議 長	事務局長	書 記
長崎地域協議会	 酒井 隆 (基幹労連)	 入江 良美 (交通労連)	 草野いづみ (ユニオン)
長崎地域協議会 西彼北部ブロック連絡会議	 中川 俊紀 (基幹労連)	 林 浩之 (自治労)	
諫早・島原地域協議会	 大木 豊 (日教組)	 五島 喜盛 (ユニオン)	 池田多佳子 (ユニオン)
諫早・島原地域協議会 島原ブロック連絡会議	 高見 俊治 (自治労)		
大東・杵岐・対馬地域協議会	 久富 健一 (自治労連)	 塩入 高志 (ユニオン)	 川本 文子 (ユニオン)
大東・杵岐・対馬地域協議会 杵岐ブロック連絡会議	 赤木 修 (自治労)	 辻村 繁 (自治労)	
大東・杵岐・対馬地域協議会 対馬ブロック連絡会議	 鶴岡幸太郎 (JP労組)	 八島 啓介 (自治労)	
佐世保地域協議会	 菊永 昌和 (自治労)	 鴨川 博明 (基幹労連)	 本郷 栄子 (ユニオン)
佐世保地域協議会 北松ブロック連絡会議	 吉元 修二 (電力総連)	 山口 哲広 (自治労)	
五島地域協議会	 清川伊久雄 (私鉄総連)	 高井良芳行 (ユニオン)	 大島 鶴恵 (ユニオン)
五島地域協議会 上五島ブロック連絡会議	 鉄川 信隆 (JP労組)	 松岡 貢 (自治労)	

**地域に根ざした活動を基本に県連合会とともに、
地域課題の解決に全力で取り組みます。** 地域協議会一同